

EV普及に向けた「E-KIZUNA Project」について(概要)

1. プロジェクトの名称

「E-KIZUNA Project」 (イー・キズナ・プロジェクト)

2. 経緯

平成21年6月 市議会で市長が公用車を100%次世代自動車とする方針を表明
8月 日産ライトトラック(株)常務と日産自動車(株)のEV部門トップによる市長表敬

3. プロジェクトの目的

EV普及拡大の前に立ちはだかる3つの課題の解決による
「ZERO EMISSION MOBILITY」の実現

3つの課題とは

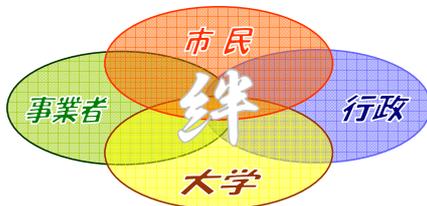
1回の充電で走行可能な距離が短い
車両の価格が高い
一般の消費者の認知度が低い

4. プロジェクトの基本方針

市民・事業者・行政の連携により、EVを安心して、快適に使える低炭素社会の実現を目指し、

充電セーフティネットの構築 (安心感)
需要創出とインセンティブの付与 (満足感)
地域密着型の啓発活動 (親近感)

を基本的な方針として、EV普及拡大の課題解決に取り組む。



推進体制イメージ

5. 今後の予定

- ・しあわせ倍増行動計画の公表(No.53「E-KIZUNA Project」などの実施により、次世代自動車の普及を促進します。)
- ・コラボさいたまで日産自動車(株)がEV出展並びに特別講演
- ・第1回(仮称)さいたま市次世代自動車導入加速地域協議会開催
- ・EV青色パトロール車出発式(10区役所にEVを1台ずつ計10台導入)
- ・民間事業者等への参加の働きかけ

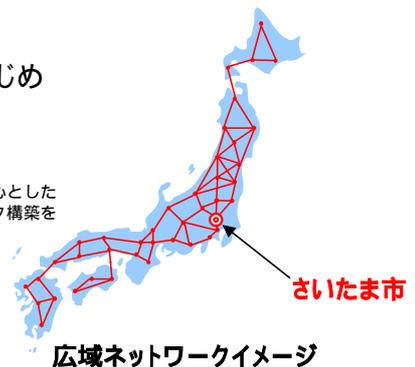
【「E-KIZUNA Project」と併せた、さいたま市の取組】

「E-KIZUNA サミット」構想

EVの使用環境の改善等を通じてその普及を促進するため、関東の八都県市地域をはじめ全国の地方自治体に働きかけ、EV普及の自治体間ネットワークを立ち上げ、以下の取組を通じて、EVで安心・快適にどこへでも行ける社会の実現を目指します。

地域間で連携した充電環境の整備
EV普及施策のベストプラクティスの共有
EV普及に必要な、国・メーカー等への働きかけ
その他EVの普及に必要な活動

東日本を中心としたネットワーク構築を目指します。



広域ネットワークイメージ